

大川小で新校長に研修実施、宮城 児童74人が犠牲、遺族を講師に

2020年11月4日 12時07分 (共同通信)



震災遺構として整備が進む宮城県石巻市の旧大川小で行われた、県内公立学校の新校長に向けた研修会 = 4日午前



東日本大震災で児童74人が犠牲となった宮城県石巻市立大川小で4日、本年度から新たに県内公立学校の校長となった約90人が、遺族を講師に招き研修を受けた。児童・生徒の命を最優先とする意識を高める狙い。宮城県教育委員会による同小での研修は初めて。

6年の次女みずほさん=当時(12)=を亡くした佐藤敏郎さん(57)らが校舎前で、震災前の建物や震災後の周辺一帯の写真を見せながら「自分の学校を思い浮かべてください。災害が起こるのは変えられないが、犠牲が出る未来は変えられる」と訴えた。

来年度以降は新規採用の全教職員も対象とする予定。